

ま え が き

徳島県中学校教育研究会数学部会の会員の先生方におかれましては、「意欲を高め、豊かな学びを創造する算数・数学教育」の研究主題のもと、日々の授業実践に精魂を傾けられていることに、心より感謝と敬意を表します。

平成20年3月に出された『学習指導要領』で、中学校数学科の指導は、基礎的基本的な知識及び技能を習得し、それらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むことと、数学の学習に主体的に取り組む態度を養うことにバランスよく取り組む必要があるとされています。そこで、①数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することができるようにすること、②事象を数理的に考察し表現する能力を高めること、③活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てることの3点の目標の改善が図られました。また、内容の改善については、領域構成を3領域から「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域に改められるとともに、各学年の内容に数学的活動が位置付けられました。中学校数学科においては、新教育課程に円滑に移行できるよう、平成21年度から第1、2学年で、また、平成22年度から第3学年でそれぞれ指導内容の一部を変更するとともに、授業時数を増加することになっています。

私たち現場の教員は子供たちと正面から向き合い、基礎・基本の向上のために日々努力し、教材研究を行っています。しかし、限られた人数での仕事は多岐にわたり、校務は多忙を極めています。そのため、教材研究の時間を確保することが難しいのではないのでしょうか。

そこで、本研究委員会では、「数学的活動を楽しむことのできる教材研究（実践事例）」を研究テーマとして実践研究を進め、その成果をまとめて編集いたしました。実践事例には、指導案だけでなく、ワークシートや授業後の考察も掲載しております。授業実践をしての課題などを私たち数学科教師が共有することによって、今後の授業の工夫につながればと思います。

本誌は、各都市代表の研究委員の先生方のご協力により、研究・編集されました。この研究誌を日々目の前の生徒とともに切磋琢磨されている先生方にご活用いただき、課題解決のヒントになれば幸いです。

終わりにになりましたが、本誌編集にご尽力いただきました研究委員の先生方、事務局の先生方に厚くお礼を申し上げ、発刊の言葉といたします。

平成21年4月

徳島県中学校教育研究会数学部会

会 長 森 本 昇

目 次

(第1学年)

1	方程式	松 茂 中 学 校	永岡 大輔	1
2	方程式の利用	鳴門市第一中学校	上塚 牧雄	7
3	反比例	上那賀中学校	森本 雅仁	12
4	基本の作図	脇 町 中 学 校	佐藤 美幸	16
5	立体の表面積と体積	那賀川中学校	近藤多恵子	20

(第2学年)

6	連立方程式	立 江 中 学 校	平井 正美	23
7	連立方程式の利用	八 万 中 学 校	九十九 肇	27
8	一次関数とグラフ	市 場 中 学 校	山野井貴子	31
9	一次関数と方程式	井 川 中 学 校	大谷 一幸	36
10	一次関数の利用	川 内 中 学 校	林 美津子	40
11	多角形の角	高 浦 中 学 校	西浦 陽子	44
12	四角形	南 部 中 学 校	多田 利行	48

(第3学年)

13	根号を含む式の計算	由 岐 中 学 校	長瀬慎一郎	53
14	二次方程式	鴨島東中学校	松本 和基	55
15	関数とグラフ	佐那河内中学校	高橋 勤子	59
16	図形と相似	上 勝 中 学 校	川田 哲生	63